

時代への対策にも努めている。世の中が変化して、家庭との絆をしっかりと構築し、地域に密着していれば活路は開ける。

増販へ

い。当社は電気工事士の資格を持つ人材を抱え、工事力もある。すでに10件以上から引き合いを得た。太陽光発電をガス外事業の柱に育てたい。燃料電池にも期待しているが、知名度の面で太陽光に劣る。イニシャルコストが下がらないと二気の増販は難しい。

には社員が顔の見える営業を展開しなくてはならない。お客さまとの関係が希薄になるからオール電化に奪われる。保安生活の徹底も含め、顔の見える活動をさらに強めた。今年3月には1千万円を投じプロパン100%の簡易型LPGガスタンドを導入した。タクシヤや業務用向けの営業は行わず、自家用が中心。当面は、自社車両や取引販売店の所有車両のLPG車化を促進するためのインフラと位置づけている。LPG車の導入にも注力する。スタンド開設を機に、軽LPG車を2台増車、6月までにさらに2台追加する計画だ。燃費やコストデータを集積し、資金繰りを含めLPG車の導入モデルを作り上げる。今後はハイブリッド乗用車やプラグインの導入も検討している。

地域拠点構想を推進

アイティエス 熊本市



岩本好史社長

地域拠点構想を推進しており、昨年7月には核となる新社屋を熊本市大窪に移転オープンさせた。新社屋内には、床暖房やエコウィルなどの施設を備え、顧客の利便性を高める。また、同システムを各戸に備える賃貸マンションの建設構想も進めている。隣接する敷地では、同2月からA重油配送センターが順調に稼働している。

工技術を学ぶ場となる研修センターを置く計画。エネファームの動向を睨み、同システムを各戸に備える賃貸マンションの建設構想も進めている。隣接する敷地では、同2月からA重油配送センターが順調に稼働している。

LOHAS浸透に力

チヨープロ 長崎県長与町



荒木健治社長

貨ショップに、主婦向けの輸入台所用品などを並べている。それらに関心を持つ主婦と話をすると、お仕着せのシステムキッチンではなく、オリジナルのキッチンを求めたり、健康重視の料理にこだわりのあるのが分かる。当社での料理教室に



三角征四郎副社長

Misumi 鹿児島市

新エネ対応を強化

オバマ米政権の誕生で、環境配慮型の新しい産業を育成し雇用の確保が図られることになった。同国の20世紀はT型み合わせれば、自動車や

えれば、ガソリンの価格が下がっても市場が拡大することはない。SSはさらに減少している。電力会社が火力発電で電気の需要増に応えようとしても、CO2が増えるうえ、送電線経由でロスが生じる。太陽光発電と高性能バッテリーを組み合わせれば、自動車や

などの電気製品も扱ってきたので、工事力を持つ。従って太陽光発電や燃料電池が出てきても、取り扱いはそれほど難しくはない。初めは技術修得と価格が問題になるので、市場も一気には拡大しない。当社はこのため、新エネに特化した部を4月に設置した。市場が小さく初めから大きな組織にはできないが、人材育成を含め着実に事業を完

昨年4月にLOHAS(ロハス)健康と持続可能性のライフスタイル)をコンセプトに建設した。当社での料理教室に

をコンセプトに建設した。当社での料理教室に

をコンセプトに建設した。当社での料理教室に